

開催日時: 10 月 17 日 PM 14:30-16:30

開催場所: 福岡県福岡市 都久志会館会議室

出席者: 尾宮支部長 宮田副支部長、上瀧副支部長、森田幹事、伊藤幹事 今林幹事、  
吉原技術委員長、木原基礎部会長 内山特殊部会長、小林委員長  
坂口正(北九州)、江口(佐賀)、澤村(熊本)、河野(大分)、川越(宮崎)、木場(鹿児島)、山盛(沖縄)各地区幹事  
山田、山下 事務局

以上合計 19 名

議事 (進行順)

1. 支部長挨拶-----尾宮支部長

9 月 24 日の構造設計一級建築士の合格発表では、約 12000 人の受講者に対して約 6000 人が構造設計一級建築士の試験に合格した事になりました。また、スキルアップセミナーも昨日の沖縄と来週の福岡で開催され、11 月 2 日には追加試験も行われる予定で、今年中には、この問題も一段落するでしょう。しかし来年は、この構造設計一級建築士(以後「構一」と略す)の実際の運用やその他設計報酬も含めた建築士法改正について、色々と問題が発生すると思われるので今後ともご協力をお願いいたします。

2. スキルアップセミナー報告-----上瀧副支部長

昨日沖縄にてスキルアップセミナーが開催され、私と川崎氏・赤星氏と沖縄の花城氏で講師として参加しました。沖縄会場では、マトリックスについての質問があり、川崎幹事に特別に 20 分ほど説明をして頂いています。

3. 地区会報告-----各地区会幹事

佐賀地区 江口幹事

- ・ 10 月 4・5 日に、増田一眞(マサカズマ)さんをお招きして、第 1 回目の木造の勉強会を開催しました。この一連の講習会には 54 人(内意匠系が 34 人)の申し込みがあり、初回参加者は 50 人でした。
- ・ 構一の試験合格者は 14 人でした。内適判資格者が 7 人です。
- ・ (適判状況) 4 月から 122 棟完了し、16~17 棟/月の申請。不適合 0 件。平均 13.3 日で申請者に返している。適判の所要日数は、質疑回答も含め平均 27 日程度である。

熊本地区 澤村幹事

- ・ 構一試験は 54 人合格した。内適判資格者は 23 人。
- ・ 建築住宅センターでは、木造も受け付けを開始している。
- ・ 12 月初め外付けフレームの耐震補強の見学を予定している。
- ・ (適判状況) 4 月から 240 件完了し、1 月 40 件のペース。2 週間で完了している。

大分地区 河野幹事

- ・ 構一試験は 30 人合格した。内適判資格者は 8 人。
- ・ 大分地区会として、地区会の意見交換会を開催した。

- ・ 構一試験に合格するためには、まず一級建築士の試験に合格しなければならない。構造事務所の所長は、「若い構造設計者に、一級建築士の試験に合格できる環境をまず準備してやらなければ、構造設計の将来はない。」と話し合っている。
- ・ 今後半年は、建築士法改正や発注者に対しての構造に関する説明責任義務等が、どのような形で具体的に推移していくかを見守っていかなければならない。

#### 宮崎地区 川越地区幹事

- ・ 構一試験は 21 人合格。内適判員 5 人。構造士は全員合格。
- ・ 10 月初旬常駐適判員を呼んで懇談会を開催した。
- ・ 適判はまだ不慣れで、県内設計者より県外の申請者の方が早く下りている。
- ・ ピロティ構造の勉強会を行ったが、今後も定期的に勉強会やレクレーション会を行って行く予定。

#### 鹿児島地区 木場幹事

- ・ 構一試験は 28 人合格した。内適判資格者は 11 人。JSCA は 22 人受験して 14 人合格。
- ・ 10 月 8 日地区会開催。10 月 17～19 日「くらしと建築展」開催予定、JSCA のブースも作っている。10 月 31 日には、FASA(特定非営利法人日本建築構造設計事務所協会連合会)の全国総会が鹿児島で開催される。12 月 10 日に地区会忘年会予定。
- ・ 鉄構工業会と協賛して、非破壊試験講習会。また、溶接実習体験の勉強会を計画している。
- ・ (適判状況) 8、9 月適判物件無し。10 月は 20 物件申請の予定。200gal 液状化判定はトーンダウンしている。

#### 沖縄地区 山盛幹事

- ・ 構一試験は 24 人合格した。内適判資格者は 11 人。全体では 1 割の合格率に過ぎない。構一は 3 倍いないと足りない。
- ・ 10 月 16 日第 2 回スキルアップセミナーを開催。
- ・ 県外の構造設計支援制度で、9 月末まで 89 件の申込みに対して契約成立 15 件。5 月より契約件数は増加していない。
- ・ (適判状況) 40～45 件/月処理。例年 6000 棟の確認を行っていたが 19 年度は 4000 件止まりであった。構造設計者が不足して設計待ちの状態にある。

#### 北九州地区 坂口幹事

- ・ 7 月 2 日の第 1 回北九州建築行政連絡協議会に引き続き、10 月 7 日に第 2 回北九州建築行政連絡協議会が開催された。JSCA からも参加。2 時間協議。
- ・ 来年 5 月 27 日以降、構造設計一級建築士・設備設計一級建築士が関与する事を義務付けられている物件に違反するものは確認さえ受け付けないという事態になるが、その実際の運用について行政と話し合いがもたれたが、結論は出ていない。今後引き続き協議していく。
- ・ (適判状況) 北九州市での確認物件は、4 号物件までを含めると 8%増だが、中高層物件は 50%減である。
- ・ 北九州では、マンションの構造設計は、適判対応に時間がかかるため皆が敬遠して構造設計者がいない状態。  
(吉原) 今の福岡県適判は、以前のような細かい指摘は減ってきていると思う。

#### 4. 委員会報告-----各委員長・部会長

技術委員会-----吉原技術委員長

- 福岡適判と意見交換会の結果、適判判定時の質疑についての回答方針を「構造計算適合性判定に関するQ & A集(第一回)」としてまとめて JSCA 九州のホームページに掲載している。  
今後、第2回Q&A集として、さらに追加して行こうと考えている。適判機関からの無理な指摘については事務局に情報を流して下さい。
- 適判の対応は1年前と明らかに違ってきている。適判の指摘事項については字面だけで拡大解釈せず、その内容をよく吟味する必要がある。非常に重たいと思われる指摘事項でさえ、簡単な回答ですむ場合もある。

青年部会-----今林青年部会長

- JSCA 法人化 20 周年記念展を次のように計画しています。

(概要) -事務局-

JSCA 法人化 20 周年記念展を来年4月～5月に行う。建築学会巡回展の構造模型と JSCA 九州 AWARD 募集作品のパネル展示を3日間行う。展示会は一般に公開できる場所とする。3日目に記念イベントとして講演会と JSCA 九州 AWARD の紹介・採点・表彰を行う。3日目の参加人員規模は支部総会程度とする。

青年部案 (詳細は別紙添付資料①)

- ① 名称: JSCA 法人化 20 周年記念展 in 九州
- ② 会期: 2009 年 月 日(水)～ 日(金) 3 日間 (4 月～5 月、支部総会と同日の可能性もあり。)
- ③ 会場: 福岡市役所1階ロビー (展示)および 200 名程度収容会場(JSCA 九州 AWARD、記念講演)
- ④ 対象: 九州・沖縄在住の建築系学生(大学・高专)から建築専門家(若手・ベテラン)まで
- ⑤ 主催: 日本建築構造技術者協会(JSCA 九州)
- ⑥ 後援(予定): 日本建築学会、日本建築士事務所協会
- ⑦ 協賛(予定): 建設会社各社、設計事務所各社、メーカー各社、建築関連企業各社
- ⑧ 企画内容
  1. 展示企画 / 建築学会巡回展、JSCA 九州 AWARD 作品展 : 水曜日～金曜日
    - a. 建築学会「ARCHI-NEERING-DESIGN 巡回展」による構造模型展示
    - b. JSCA 九州 AWARD 募集作品のパネル展示
  2. イベント企画 / JSCA 九州 AWARD : 金曜日午後・1.5～2 時間
    - a. 九州・沖縄の構造設計者が手がけた建物の紹介と表彰
    - b. 九州・沖縄の構造設計者による創意工夫(建物付属物、アイデア、各種技術等)の紹介と表彰
    - c. 九州・沖縄に存在する構造的に魅力ある建物(私の好きな建築構造物)の紹介
  3. 記念講演企画
    - a. 斎藤公男氏講演会 : 金曜日午後・AWARD の後、1.0～1.5 時間  
「テクノロジーと建築デザインの融合・進化」
  4. 出版企画 / JSCA 九州顔写真入りポケットブック型名簿
    - a. JSCA 会員向け(顔写真入り名簿、JSCA 九州 AWARD 写真、協賛企業広告) 有料
    - b. その他向け(JSCA 九州の紹介、JSCA 九州 AWARD 写真、協賛企業広告) 無料
  5. 懇親会

・イベントへ協力して頂けるメンバーを増やしたい。地区会の若い人にも協力して欲しい。各地区でも紹介して下さい。連絡は今林まで。

基礎部会-----木原基礎部会長

- ・ 青年部会と協力して「基礎ハンドブック」の作成作業行っている。来年3月の完成をめざしている。

特殊部会-----内山部会長

- ・ 11月に福岡管区気象台のアウトフレームによる耐震補強の見学会を予定している。

編集ホームページ委員会 -----森田幹事

- ・ 来年のSTRUCTURE1月号発送時に、「JSCA九州」を出す予定です。12月になったら、原稿作成をお願いしますのでよろしく。

## 5. その他

### 1) 本部役員改選について-----山田事務局

尾宮支部長兼本部理事をもう2年維持したい。役員会了承。

### 2) 沖縄県建築設計サポートセンター設立について-----山盛沖縄地区幹事

特定非営利活動法人沖縄県建築設計サポートセンターが設立された。NPO法人認定は来年1月か2月になるだろう。業務内容は、沖縄県内の構造設計について、無料でサポートする相談部と、構造設計を直接受注(有料)する計算業務部で構成されている。

- ・ 来年度より3年間を予定している。
- ・ 補助技術者として9人程度を募集し、常勤とさせる。
- ・ 国と県の補助有り。

(添付資料参照②)

### 3) JSCA 法人化 20 周年記念名簿の作成-----木場鹿児島地区幹事

JSCA 法人化 20 周年記念事業の1つとして顔写真入り手帳型名簿を作成する。鹿児島地区写真データはすべて収集済み。福岡も近日中に募集する。

(添付資料参照③)

### 4) 次回役員会は、12月12日福岡で開催予定

お疲れさまでした。